

【優秀賞】

## 「北方領土問題について」

網走市立呼人中学校

2年 寺崎 結

私は八月二十八日に元島民の語り部の方からお話を聞きました。昔はどのような生活をしていたのか、占拠された時の様子、現在の生活はどのようなものかなど、教えていただきました。

北方四島は面積五千平方キロメートルで、歯舞群島では、面積が小さいながらもたくさんの方が生活していました。また、そこでは長さ5、6メートルの昆布を取って暮らしていました。他の島でも特に漁業が盛んで、漁を中心に生活していたそうです。戦争の間はひもじい生活をしていて、食べ物が自由に買えず毎日同じおかずで、それでも、わがままや不満は言えなかったそうです。そして戦争に勝ったロシアは不法に四島を占拠したそうです。無抵抗の人たちを銃で脅し、家を荒らされた、その時のことを長い年月がたった今でも忘れられないと話していました。

そんな毎日に耐えきれず、島を脱出する人もいたそうです。その後、兵隊が上陸し、島民の方は強制送還させられました。乗り込んだ船は貨物船で毎日パンと漬物を出されたそうです。船は不衛生で栄養失調で亡くなる方もいて、幼い赤ん坊ですら死んでしまえば海に捨てられてしまったそうです。

私はこの話をもっと多くの人へ語り継がれるべきだと思います。当時、島で暮らしていた自分の故郷を奪われ、その後、今現在も満足に島に行き来することもできていません。元島民の多くの方は悔しく悲しい思いを今もしています。最近、市のお祭りや行事などで北方領土返還に関する活動を目にします。そういった活動に参加していくことで、より北方領土への理解が深まっていくと思います。私たちの行動一つで少しでも状況が良くなるならば、それをしていくことが必要です。いつか北方領土が返還されることを願っています。

自分には関係ないことと思うのではなく、日本の領土が不法に占拠され、辛い思いを経験して、今、返還を目指して活動している人がいることを知ってほしいです。同じ日本の国民として、少しでもこのような意識を持つことが大きな力となるはずです。私自身も直接語り部の方から話を聞いて、昔の北方領土のことや現在の状況がよくわかり、理解を深めることができました。人から人へ語り継がれることでよりたくさんの人に。日本だけでなく、不法に占拠しているロシアにも、この事実を知ってほしいと思います。